

各都道府県消防防災主管部長 殿

消防庁国民保護・防災部防災情報室長
(公 印 省 略)

防災行政無線等の戸別受信機の普及促進に関する研究会の検討結果について

防災行政無線等の戸別受信機は、特に災害弱者の方々に情報を確実に伝えるための有効な手段の一つであり、普及促進を図ることが重要です。このため、総務省が推進している「情報難民ゼロプロジェクト」(※)の一環として、「防災行政無線等の戸別受信機の普及促進に関する研究会」(以下「研究会」という。)を開催し、今般、報告が取りまとめられました。(URL: http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/06/290630_houdou_1.pdf)

貴職におかれましては、貴都道府県内の市区町村に対して、研究会の報告について周知するとともに、下記事項に留意の上、戸別受信機の普及等を通じた災害時の情報伝達体制の強化に取り組んでいただくようお願いいたします。

※ 情報難民ゼロプロジェクト

http://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/kokumin/jyohonanminzero/index.html

記

1 各市区町村において取り組んでいただきたいこと

以下の取組例を参考として、災害時の情報伝達体制の強化を図ること(別添参照)。

(1) 調達方法の工夫に関する取組例

親局だけでなく戸別受信機の整備、保守点検業務等をまとめてプロポーザル方式により調達し、整備費用を大幅に低減した事例があること。

(2) 高齢者の方々に対する取組例

ア 電話、FAX 及びメールの一斉送信サービスの活用

事前に登録された電話、メール又は FAX に対する情報の一斉送信により、携帯電話を持たない高齢者や聴覚障害者の方々への情報伝達を迅速に行う事例があること。

イ 防災行政無線に係るテレフォンサービスの活用

防災行政無線の放送内容を録音しておき、住民が指定された電話番号に電話をかけることにより、既に放送された内容を聞き直すことができる事例があること。

ウ タブレット端末を利用した災害情報の伝達

タブレット端末への個別情報配信システムの整備を行い、情報伝達手段の多層化や高齢者等の方々へのきめ細かな情報の伝達に取り組んでいる事例があること。

(3) 障害者の方々に対する取組例

ア 電話、メール及びFAXの一斉送信サービスの活用（上記(2)アの再掲）

イ 屋外拡声子局への赤色回転灯の設置

防災行政無線の屋外拡声子局に赤色回転灯を設置し、放送に合わせて点灯させ、視覚的に緊急事態であることを周知し、注意を促している事例があること。

ウ テレビを利用した災害情報の伝達

携帯電話網を活用したテレビを自動起動させるシステムを整備して、聴覚障害者等の方々に対する情報の伝達に取り組んでいる事例があること。

(4) 外国人の方々に対する取組例

ア フリーWi-Fiを活用した緊急時情報伝達手段の確保

市内で整備しているフリーWi-Fiを訪日外国人の方々を利用する際に、メールアドレスの登録を必須とし、災害時には、英語や中国語等で情報をメールで配信し、注意喚起や避難誘導を行う事例があること。

イ 観光アプリを通じた災害情報の提供

町で作成した観光アプリを通じて、役場から日本語、英語及び中国語で情報を伝達している事例があること。

ウ 防災アプリ等を通じた情報伝達の多言語対応

防災行政無線の戸別受信機と連動させ、テレビ及び文字表示盤などに避難情報等を表示させる仕組みの導入や、スマートフォンアプリの整備により、外国人等の方々への情報の伝達に取り組んでいる事例があること。

2 戸別受信機の普及促進に関する今後の取組

- (1) 今後、消防庁において検討会を開催する等により、戸別受信機の量産化・低廉化に寄与すると考えられる標準的なモデル及び仕様書（例）の作成や、緊急時に複数の伝達手段を同時に作動させるために必要な防災行政無線の入力インターフェースの規格の策定等を、今年度末を目途として行う予定であること。
- (2) 今後、消防庁において、市区町村へのアドバイザーの派遣等を通じて、上記1の取組の具体化や上記2(1)の仕様書（例）等の活用を促す予定であること。

(連絡先)

消防庁防災情報室

担当：鈴木（健）補佐、城門係長、三浦事務官

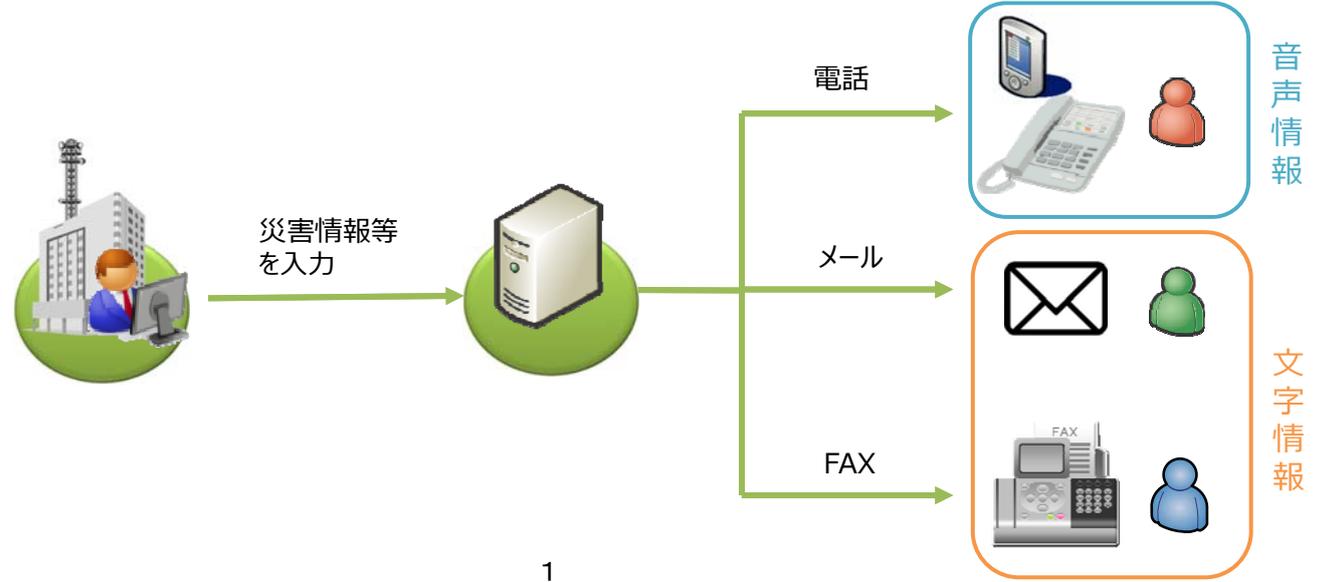
TEL 03-5253-7526 FAX 03-5253-7536

戸別受信機の調達方法の工夫に関する取組例(通知の1(1)関係)

<p>概要</p>	<p>平成9年の整備の際に、初年度に親局のみで入札を行ったところ、屋外拡声子局や戸別受信機は親局の落札者からしか購入ができず、結果として高価になってしまった。</p> <p>平成26年のデジタル化に伴う再整備の際には、親局だけでなく、屋外拡声子局、再送信子局、戸別受信機の整備、戸別受信機や外部アンテナの設置業務、既存戸別受信機の撤去及び保守点検業務をまとめてプロポーザル方式で調達を行った。その際、仕様書は全てのメーカーの機器に適用できるように作成するとともに、平成27～28年度の戸別受信機の購入価格は、プロポーザル時の金額と同様にすることを明記するなどの工夫をした。</p> <p>結果として、設計金額の約50%の金額で調達することができた。</p>
<p>主な仕様</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親局 1局 ・ 操作卓 2局 ・ 子局 33局 ・ 再送信子局 2局 ・ 戸別受信機 21,000台（設計当初） ・ 空中線設置 6,300本

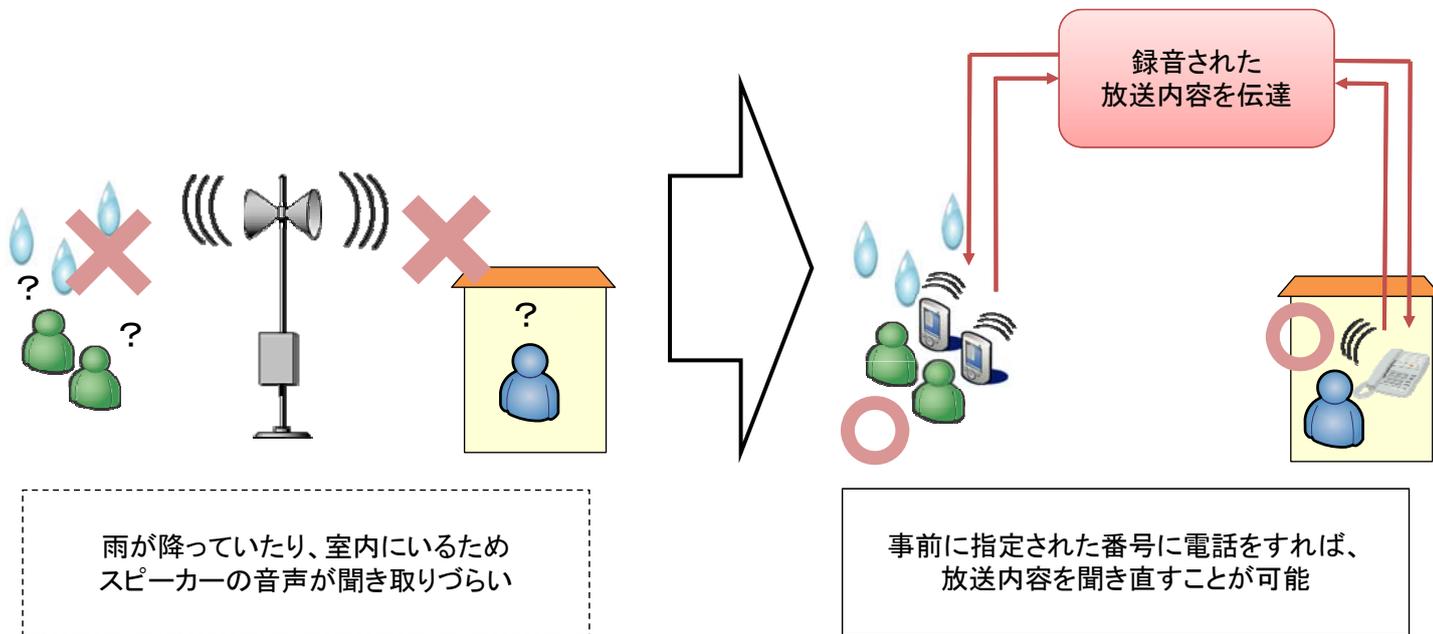
高齢者及び障害者の方々に対する取組例(通知の1(2)ア及び1(3)ア関係) 「電話、FAX及びメールの一齐送信サービスの活用」

<p>概要</p>	<p>事前に電話・FAX番号又はメールアドレスを登録し、登録された電話、FAX又はメールに対して、一齐に情報を送信することで、携帯電話を持たない高齢者や聴覚障害者の方々にも、災害時に迅速に災害情報を届けることができる。</p>
<p>主なポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事前に番号やアドレスを登録しておくことにより、一齐にその電話、メール及びFAXに情報を送信することができ、個別に連絡する必要がない。 ■ 固定電話のみ持っている高齢者や聴覚障害者の方々に対しても直接情報を届けることができる。 ■ メールやFAXによる送信が可能であるため、聴覚障害者の方々にも情報を伝えることができる。



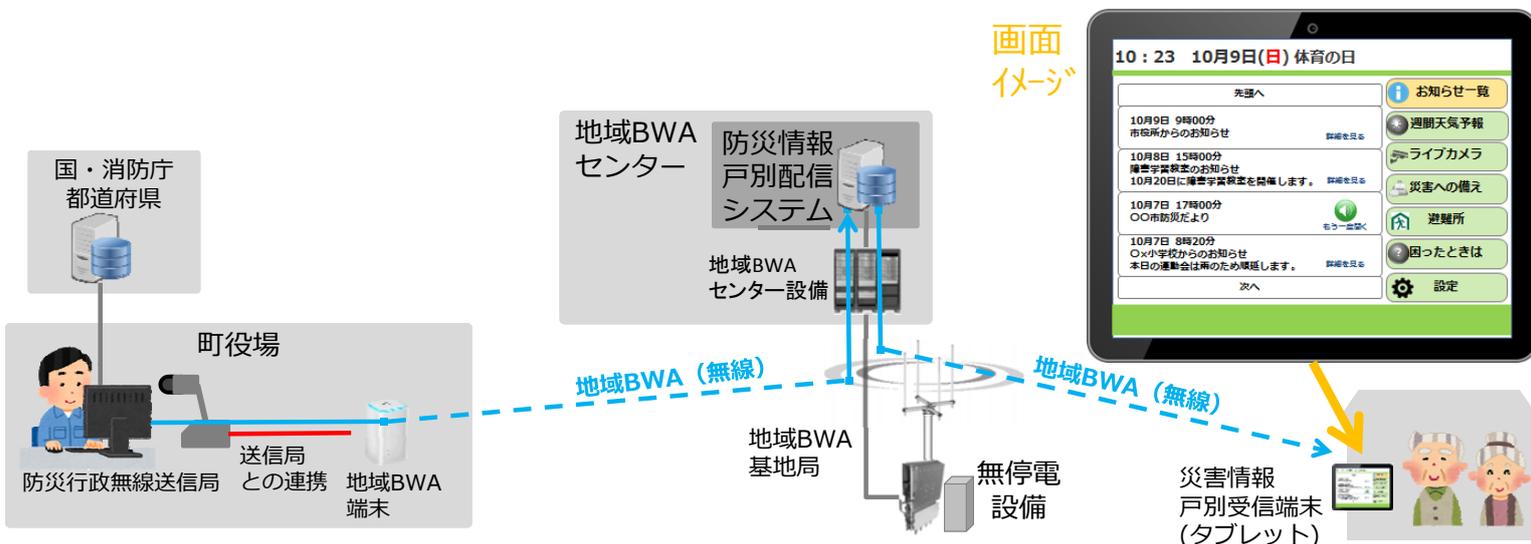
高齢者の方々に対する取組例(通知の1(2)イ関係) 「防災行政無線に係るテレホンサービスの活用」

概要	防災行政無線の放送内容を録音し、住民が指定された番号に電話をかけることで、一度放送した内容を再度聞き直すことができる。
主なポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 放送内容を十分に把握できなかった際、改めて聞き直すことができることから、雨天時等に音声聞き取りづらいつ可能性がある屋外スピーカーを補完することができる。 ■ 高齢者の方々でも、受話器から直接放送を聞くことができるため、確実に放送内容を把握することができる。



高齢者の方々に対する取組例(通知の1(2)ウ関係) 「タブレット端末を利用した災害情報の伝達」

概要	地域BWA(Broadband Wireless Access)を活用し、タブレット端末への個別情報配信システムの整備を行い、情報伝達手段の多層化や高齢者、外国人等の方々へ従来以上にきめ細かく防災情報を伝達できる。現在、防災情報の受信確認や伝達効果等の有用性を検証している。 ※市町村において地域の公共サービス向上等を目的に高速データ通信を行う通信サービス
主なポイント	音声だけでなく、文字や画像等により情報を伝えられるようになることで、高齢者の方々も災害情報を容易に確認することができるようになる。



障害者の方々に対する取組例(通知の1(3)イ関係) 「屋外拡声子局への赤色回転灯の設置」

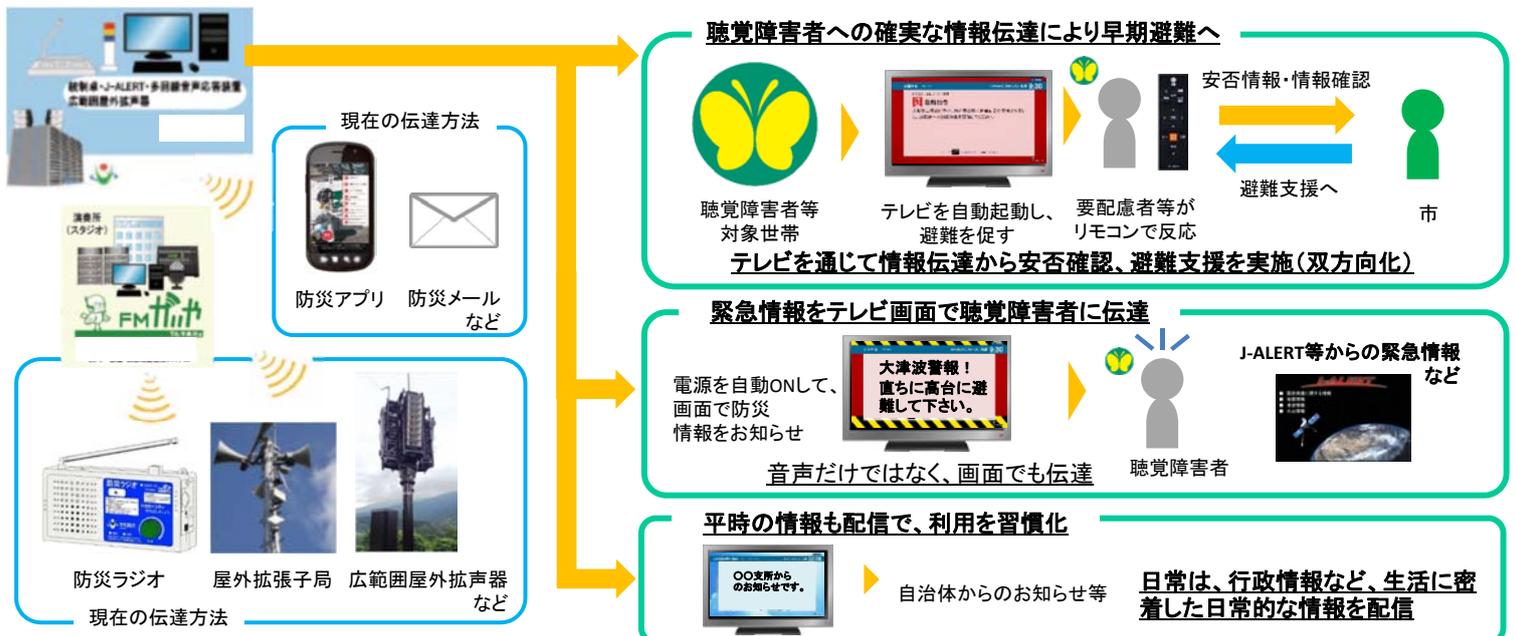
概要	防災行政無線の屋外拡声子局に赤色回転灯を設置し、放送に合わせて点灯させることで、音声以外にも視覚的に緊急事態であることを周知し、放送への注意を促すことができる。また、テレフォンサービスも併せて導入している。
主なポイント	1km先まで視認でき、また、音声聞こえなかった場合でも、テレフォンサービスを併せて活用することで、放送内容を入力できる。



避難勧告など緊急の放送を行う場合、放送に合わせて赤色回転灯が点灯する。

障害者の方々に対する取組例(通知の1(3)ウ関係) 「テレビを利用した災害情報の伝達」

概要	携帯電話網を活用したテレビを自動起動させるシステムを整備して、聴覚障害者等の方々に対し確実に防災情報を伝達することができる。現在、伝達効果や双方向性の有効性を検証している。
主なポイント	音声だけでなく、文字や画像等により情報を伝えられるようになることで、聴覚障害者等の方々が災害情報を容易に確認することができるようになる。



外国人の方々に対する取組例(通知の1(4)ア関係) 「フリー Wi-Fiを活用した緊急時情報伝達手段の確保」

概要	市内で整備しているフリーWi-Fiを利用する際に、メールアドレスの登録を必須としている。災害時には、登録されたメールアドレスに、市から英語や中国語の災害情報をメール配信し、訪日外国人の方々に対して注意喚起や避難誘導を行うことができる。
主なポイント	訪日外国人の方々にストレスのない通信環境を提供するとともに、緊急時の情報伝達手段を確保することで、安全・安心な受け入れ環境を整備できる。

Wi-Fi管理画面

パスワード変更 ログアウト

観光・緊急情報配信 PR情報配信 データエクスポート メール配信管理

観光・緊急情報配信

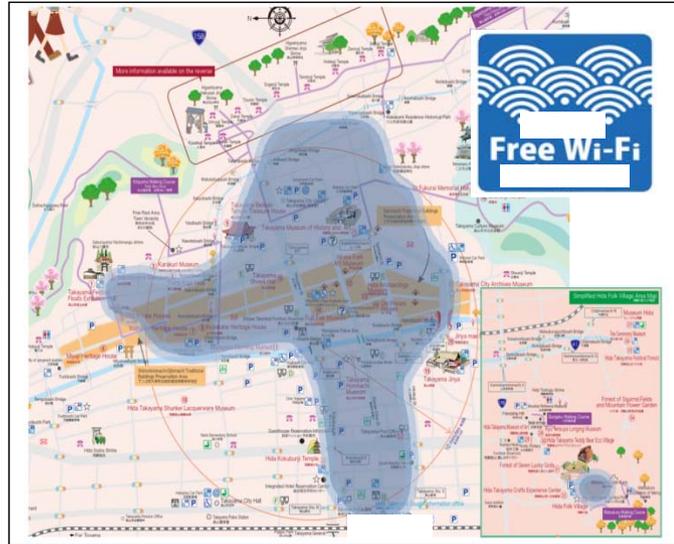
個別登録 一括登録

ID	登録日	配信開始日	配信終了日	タイトル	配信件数	詳細	配信結果
167	2017-01-17 16:10:31	2017-01-17 16:10:31	2017-01-17 16:10:49	週末から続く降雪について	257	詳細	CSV出力

日本 韓国 中国(繁体字) 中国(簡体字) 英語

タイトル 近日, 由于连续的降雪, 请大家注意以下几点

本文 近日, 由于连续的降雪, 请大家注意以下几点: . 有个别班次会暂时停开, 详情请到就近车站确认。通行时请确认房屋上是否有积雪掉落。通行时请注意湿滑的地面和车辆。期间为了处理积雪, 会有井盖打开。租车出行的各位, 请务必使用防滑轮胎和防滑链条。

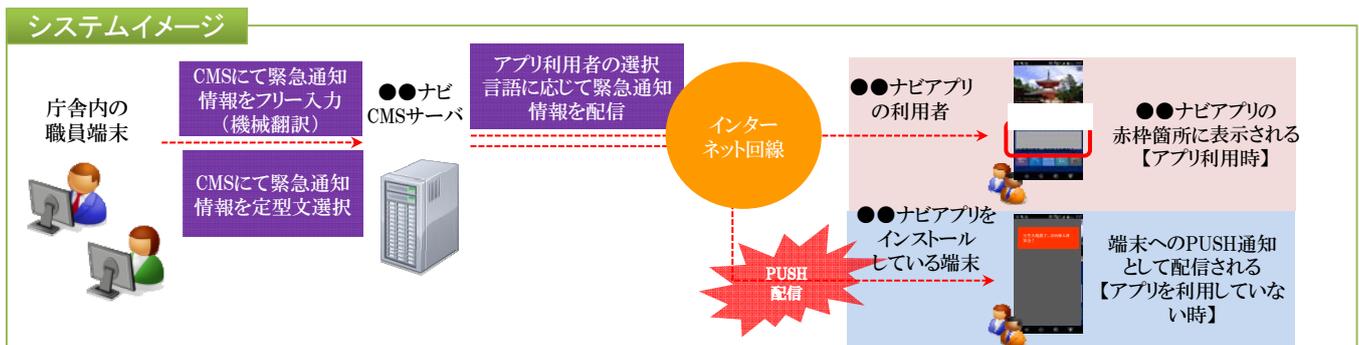


○メール配信システム
配信対象者の国籍にあわせ、多言語で災害情報等を配信

○フリー Wi-fiサービス利用可能エリア
個人旅行者の動線を踏まえ、駅・バスセンターから主要観光地の町並境界まで整備

外国人の方々に対する取組例(通知の1(4)イ関係) 「観光アプリを通じた災害情報の提供」

概要	町で作成した「●●ナビアプリ」という観光アプリを通じて、役場から日本語、英語及び中国語で災害情報を伝達している。
主なポイント	<ul style="list-style-type: none"> 観光アプリの利用に合わせて防災情報、交通情報等を受け取ることができるため、旅行先で過ごすために必要な情報が1つのアプリで一括入手できる。 緊急性を有する際の運用に関しても、職員は、あらかじめ登録した多言語による文章を選択すれば良いため、職員の語学力に依存せず、防災情報を発信できる。



外国人の方々に対する取組例(通知の1(4)ウ関係) 「防災アプリ等を通じた情報伝達の多言語対応」

概要

防災行政無線の戸別受信機とテレビ、テロップ表示盤などを連動させて分かりやすく表示する機能拡充や防災情報のプッシュ通知(多言語対応)等を行うスマートフォンアプリの整備を行い、高齢者の方々、外国人の方々、市外からの来訪者の方々に的確に防災情報を伝達することができる。現在、各機能の有用性の検証や課題抽出及び対策の検討を行っている。

主なポイント

住民の持つスマートフォンに対して、多言語の情報を文章と音声の両方で伝達することができる。

